



かけ橋

第33号

新発田支部会員の皆さまへ

看護協会新発田支部 支部長 五十嵐 聡子

会員の皆さまには、日頃より看護協会新発田支部活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

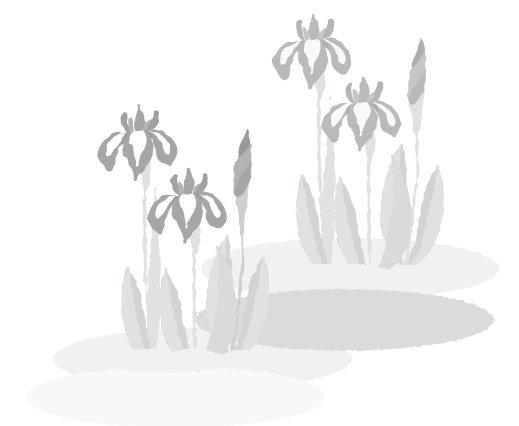
2024年6月より支部長を務めさせていただいております県立新発田病院の五十嵐です。

新潟県看護協会では池田良美新会長のもと、重点目標・重点課題3か年計画事業の2年目の取り組みが進んでおります。住民の方々が住み慣れた場所で安全に安心して暮らせるように、支部としても地域の課題に対し積極的に取り組んでまいります。

地域の課題は多方面で満載にあります。まずは支部管内の様々な現場で働く看護職の現状を知り、何が課題なのか、どこから解決していこうか、皆さまと語り合いたいと思っています。

そのプランのひとつとして、3職能合同研修を計画いたしました。「新発田地域の看護を知ろう、語ろう、つなげよう～イン新発田2024-2025～」をテーマに、研修対象者を変えながらグループワークし、多くの看護職の皆さまと新発田の看護を繋げていきたいと思いをします。

新発田支部には情熱を持った看護職が多くおられ、頼もしい限りです。さらに仲間を増やし、仲良く楽しみながら発展していけるよう、ご協力をお願い申し上げます。



おしらせ

令和7年度

公益社団法人新潟県看護協会新発田支部 通常集会のご案内

日時： 令和7年6月25日（水） 17：45～
（受付17：15～）

場 所： イクネス新発田

【かけ橋について】

この度、広報誌「かけ橋」等につきまして、個人配布を終了させていただくことといたしましたのでお知らせいたします。今後は、新潟県看護協会ホームページ上の協会支部お知らせ掲載へ移行することとなりました。

つきましては、新潟県看護協会ホームページ(<https://www.niigata-kango.com>)を参照頂けますようお願いいたします。ご不便をお掛けすることもあるかとは存じますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

昨年度よりスタートした「地域の看護を知ろう、語ろう、つなげよう」では、地域における課題を多方面から抽出し、皆さんと一丸となってその課題に取り組んでいきたいと思い、役員一同一生懸命、企画・運営してまいります。日々現場で奮闘している新発田地域の看護職の皆さん、そのタイムリーな声をぜひともお聞かせください。お待ちしております。

編集委員：相馬 真純

連絡先：医療法人社団 葵会 新潟聖籠病院 電話 025-256-1010

地域の看護を知ろう、語ろう、つなげよう ～ in 新発田 2024-2025 ～

2024年12月11日「新発田地域の看護の現状を知ろう」をテーマに、新発田圏域内で働く各施設の看護管理者や看護職代表者を対象に研修会を開催しました。この研修は全4回で構成されており、新発田地域の行政・病院・介護施設・訪問看護ステーション・クリニックから活動の現状と課題について各担当者とディスカッションを行い、地域で求められる活動と職能活動における問題・課題を整理することをねらいとしています。

2024年度から講演による研修会を見直し、支部の役割に沿って地域の課題について検討できる研修会を開催し、出された地域の課題解決に向けて支部活動を行う方針となりました。アンケートの自由記載では、「同じ看護職でも勤める機関によって仕事が違うので、今回の取り組みは面白かった」や「看看連携など、事例を通してお互いの立場が知れるととっても良い」など多くの意見がありました。

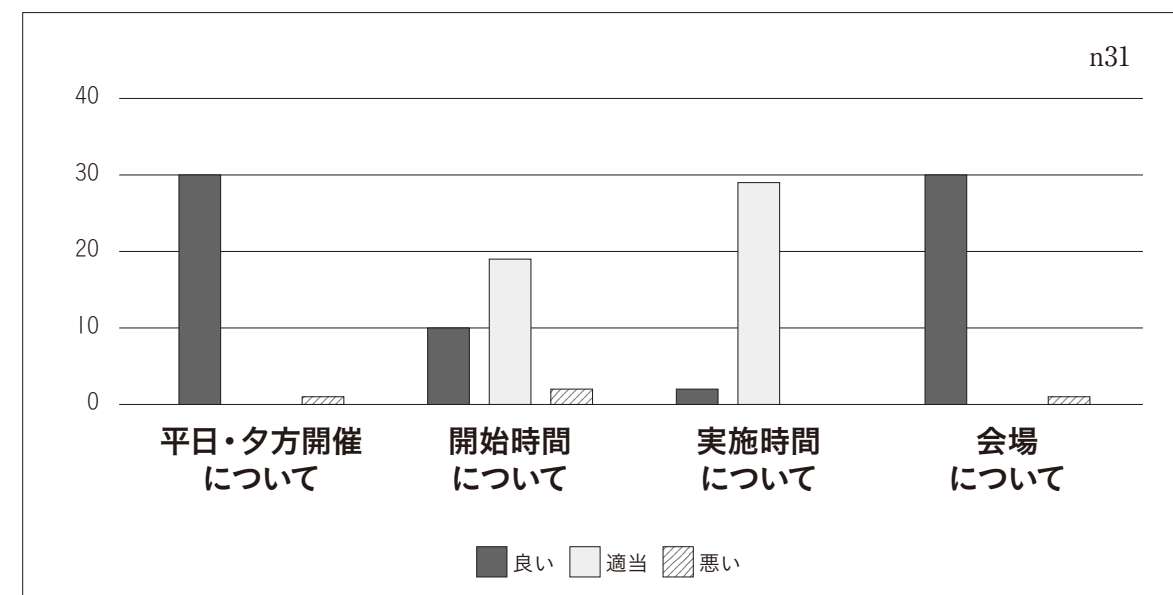


令和6年度

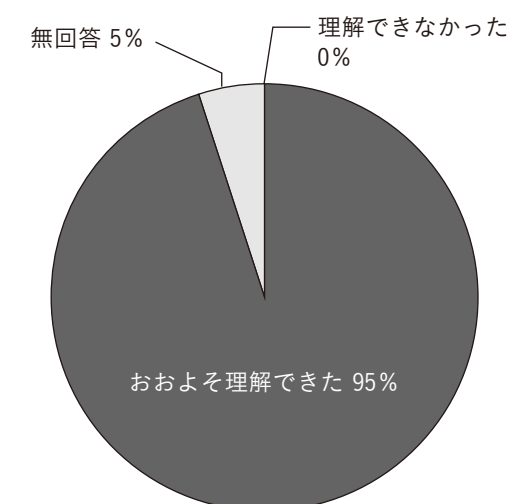
第1回新潟県看護協会新発田支部看護研修会 アンケート結果

日時：令和6年12月11日（水）17：30～18：45

会場：イクネス新発田 多目的室Ⅰ



新発田地域の看護の現状について



自由記載

- ・知らないことが多く、学びが多い研修会だった
- ・ディスカッションの内容が多岐にわたり絞られると良いと思った
- ・内容が分散したため何の研修か分かりにくかった
（連携、入退院支援、課題、自施設のアピール、顔つなぎ）
- ・これを踏まえて次にどうするかまでは浮かばなかった

